

ほほえみ通信 Vol 159

2023/4/26
発行

第159回 ほほえみ 開催

4月19日(水) 第159回 ほほえみを開催しました。

今回は7名の方が参加してくれ、うち2名の方が初めて参加された方でした。

気持ちの落ち込みへの対応、治療の副作用のつらさ、子どもへの病気の伝え方など、それぞれの体験を基にアドバイスしたり、気持ちの共感をしながら語り合っていました。

参加に際しましては、感染予防対策のため手指消毒・検温・連絡先の確認(感染予防にのみ使用します)をさせていただいておりますので、ご協力をお願い致します。

次回のほほえみは、5/17(水) 14時から16時まで

本館3階 特別会議室での開催となりますのでご参加下さい。

【がんサロン事務局より】

『がんサロン“ほほえみ”に参加して』

(がん体験記)

がんサロンに参加すると、いつもいろいろなことを考えさせられます。それは、“それぞれに人生がある”ということ。

同じ“がん”という仲間。部位は違うけれど定期的に受ける検査結果に不安を抱き、再発を不安に思い、副作用や身体の痛みと闘うという共通点があります。

でも、生活環境は様々。年齢も違えば置かれている環境も個々にあります。家庭を持っているひともしばしば独身のひともしいる。小さなお子さんがいるご家庭もあれば、子どもとして親のがんを支えながら一緒に闘っているひともしいる。

そんな中でもみんなが笑顔でいられるのは、きっと、「このサロンがあるからなのかもしれない」と思うのです。

愚痴も吐けるし不安も口にできる。家族にも友だちにも言えない心の中をさらけ出せる唯一の場のような気がします。

サロンは、“思いを共有できる場所”、“元気をもらえる場所”、“不安を勇気に変えられる場所”――。

そんな気がします。

(北海道/女性/乳がん/がん患者本人)